

クリエイティブ京都 M&T

Management & Technology for Creative Kyoto

京都府産業支援センター

公益財団法人

京都産業21 & 京都府中小企業技術センター

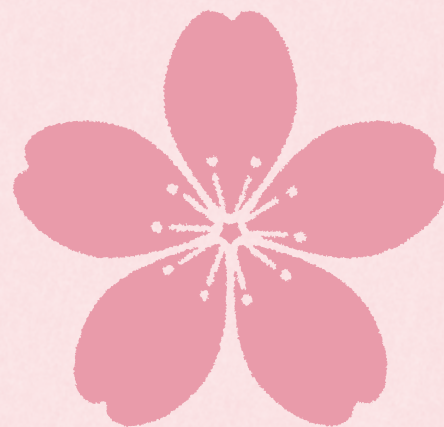
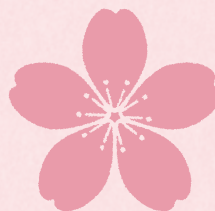
<http://kyoto-isc.jp/>

- 01 京都ビジネス交流フェア2017開催報告
- 05 平成29年度(公財)京都産業21の事業計画
- 06 「IPSネット」活動紹介
- 07 ネプコンジャパン2017出展報告
- 08 “けいはんな”発、元気企業—ヘルスビューティー(株)
- 09 新産業創造事業化研究会の紹介／平成29年度「人材活躍支援」「高度専門家派遣支援」募集案内
- 10 「平成28年度現場力向上ワーキング塾」開催報告
- 11 小規模企業者等ビジネス創造設備貸与制度のご案内
- 12 設備貸与企業紹介—(有)創研社
- 13 平成29年度 京都府中小企業技術センターの事業計画
- 14 平成29年度京都府中小企業技術センターの研究会、セミナー・講習会等の紹介
- 15 府内立地企業の紹介「(株)メタルカラー」
- 16 環境セミナー報告「化学物質のリスクアセスメント義務化に係る対応」
センター事業から
- 17 「けいはんな分室の活動報告」
- 18 「分析機器利用」
- 19 「利用者窓口アンケート結果報告」
- 20 機器紹介「分光蛍光光度計」
- 21 受発注あっせん情報
- 23 行事予定表

卯月

April 2017

No.132



京都最大級のBtoB展示商談会

京都ビジネス交流フェア 2017 開催報告

2017年3月1日(水)、2日(木)の2日間にわたって、京都パルスプラザを会場に、京都府と京都産業21の主催で、京都最大級のBtoB展示商談会「京都ビジネス交流フェア2017」を開催しました。

まず、山下 晃正京都府副知事の挨拶で幕を開け、「“オープンイノベーション”の重要性が増す昨今、新しい市場や技術、人材を獲得するためには多くの人・企業とパートナーシップを結ぶ必要があります。熱い思いを共有する方々と手を携えて新しいことに挑戦し、グローバルに活躍する企業が京都からたくさん出てきてほしいと願っています。今回も実りのある交流やマッチングの生まれることを期待しています」と述べました。続いて、村田 恒夫京都産業21理事長は「商談会と展示会の同時開催が本フェアの特長。今年は「マッチングステーション」を拡充し、マッチング機能を強化しました。京都産業21ならではのきめの細かい支援で具体的な成果をより多く出せるよう尽力します」と意気込みを語りました。

18回目の今回は、拡充した「マッチングステーション」をはじめ、過去最大出展の「ものづくり技術ビジネスマッチング展」を中心に、「近畿・四国合同広域商談会」「イノベーション連携促進コーナー」「海外バイヤー商談会」「IoT／IoTビジネスコーナー」を展開。多様な分野のものづくり企業をはじめ、大学・研究機関、支援機関が出展し、多くの人で賑わうとともに会場の随所で活発な商談が行われました。

開催両日、近畿圏内をはじめ東北から九州・沖縄など広域から来場があり、多くのビジネスマッチングが実現しました。ご来場者並びに関係者の皆様、誠にありがとうございました。



山下京都府副知事



村田京都産業21理事長



オープニングセレモニー テープカット



会場受付



マッチングステーション

京都次世代ものづくり産業雇用創出プロジェクト

「マッチングステーション」では、出展企業や大学等の特徴を把握したコーディネータや財団職員が来場者のものづくりニーズに応じて、最適なビジネスパートナーの探索をサポートし、2日間で243件にのぼるマッチングを行いました。また、今回初めて開催した「海外バイヤー商談会」では、グローバル展開を目指す企業とタイ、インドネシアの機械工具商社とのビジネスマッチングを行い、参加企業双方ともに期待以上に内容の濃い商談会であったとのことで、多くの京都企業からは現地訪問を希望する相談が出るなど、お互いにWin-Winの関係構築に向けて期待の持てる出会いの場となりました。



マッチングステーション



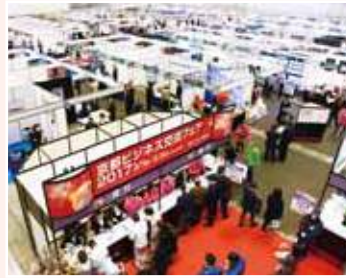
海外バイヤー商談会

◆マッチングステーション利用者の声

社内では職人さん(技能者)が減って対応が難しくなってきた案件を持って来ましたが、数多くの優れた技術を有する企業を紹介していただきとても感謝しております。当社の特徴である少量多品種の部品加工をお願い出来そうと期待しています。

ものづくり技術ビジネスマッチング展

京都ものづくり中小企業179社・22団体が出展し、自社の持つ金属加工・樹脂加工など高度な加工技術や、自動化機器・医療機器などの優れた製品開発技術をアピールしました。今回「ガラス・レンズ・特殊加工」の展示が新設され、多くの人の関心を集めました。また展示場内に設置された商談スペースでは、各展示ブースでの会話から発展し、出展企業と来場者が熱心に商談される姿が数多く見られました。



過去最大規模のマッチング展



1,000件を超える商談が生まれた

◆出展企業の声

●洛陽化成株式会社

当社は、最小穴径0.03mm、最大穴数10,000穴という微細な加工技術を強みに、半導体開発のための樹脂性のテストソケットを製造しています。今回はこれまでおつきあいのない業界の方にも当社をアピールし、新たな販路を見つけたいと考えています。複数の企業から「図面を見てほしい」などと将来につながる依頼を受けることができました。

●京都プラント工業株式会社

新規事業として取り組んでいるバーム残渣油を用いたバイオマス発電燃料について知っていただきたいと出展しました。主事業であるプラント建設で培ったノウハウを生かし、新興国向け廃棄物処理プラント建設を海外で推進中です。今回は展示に加え、「海外バイヤー商談会」でタイの方と商談できたのが収穫でした。

●株式会社メカニック

当社は、工場の自動化・省力化に貢献する各種装置の設計、製造を手がけています。加えて、自動機や各種装置の部品を製造・販売する新規事業を立ち上げました。今回はこの新規事業の部品をアピールする好機になればと出展しました。多くの来場者に紹介し、部品調達について商談につながる問い合わせをいくついただことができました。

●株式会社ナンゴー

京都の数々のものづくり企業と肩を並べて当社の存在感をアピールするために毎年出展しています。今回は精密機械加工の技術力と、当社のブランド力を訴求するため、最先端の工作機械とプログラミング技術で彫り上げる「ナンゴー彫り」の3Dステレオグラムを紹介。数多くの方に関心を持っていただき、商談につながる話も弾みました。

イノベーション連携促進コーナー

京都次世代ものづくり産業雇用創出プロジェクト

17大学・8支援機関がブースを設け、ニーズ・シーズの説明や連携事例を発信しました。産学連携を模索する企業や多様な支援を必要とする企業が訪れ、大学・支援機関との連携を模索。共同研究、ビジネスマッチングの機会を探りました。

◆利用者の声(情報通信企業)

当社得意分野の商材開発にあたり、このコーナーをきっかけに大学の先生と情報交換することができました。特にキーとなる技術について、更なる効率化への貴重なアドバイスを頂きました。また、他の多くの大学が持つシーズを知ることもでき、新たな発見もありました。



大学ブースでの産学連携意見交換

近畿・四国合同広域商談会

新たな協力企業や課題に対応できる企業を求める発注企業と、新規取引先の開拓を目指す受注企業にビジネスマッチングの場を提供する「近畿・四国合同広域商談会」を開催。全国の発注企業168社と近畿四国11府県の中小受注企業478社が参加。会期中の商談件数は約1500件で、具体的な取引への展開が期待されます。

◆利用者の声

自社や既存協力企業の経営資源だけでは対応できない事例が増えつつある中、優れた協力会社を確保することこそが、企業としての存続を左右する状況がきていると感じています。そのような中で、本商談会のような11府県という広域な地域の受注企業と一緒に面談できる機会は非常に有意義です。



約1,500件の商談が行われた。

IoT／IoTビジネスコーナー

高まるIoTへのニーズに応え新たに設置。IoTに関する基本的な考え方や企業による活用事例を展示するとともに、昨年度にスタートした「IoT／IoTビジネス研究会」についても紹介しました。最先端のIoT技術に関する展示に多くの来場者が足を止め、財団職員の説明に耳を傾けていました。

◆来場者の声◆

当社でも近く販売や生産管理においてIoTの導入を検討していますが、具体的にどうすればいいかわからないのが実情です。ブースを拝見し、IoTを導入された企業の事例を知ることができたのが良かったです。ていねいに説明を受け、導入にあたってのヒントを得られたように思います。



IoTの関心の高さを感じ取れた

京都中小企業技術顕彰コーナー

市内の中小企業の技術水準の向上と研究意欲の高揚に資することを目的に、京都にふさわしい優れた技術・製品の開発に成果をあげ、京都産業の発展に貢献した中小企業並びにその技術者の方々をたたえ、「京都中小企業技術大賞」の表彰を実施しています。本コーナーでは2016(平成28)年度の受賞企業8社の技術を紹介するとともに2017(平成29)年度の公募案内を行いました。

【平成28年度受賞企業】

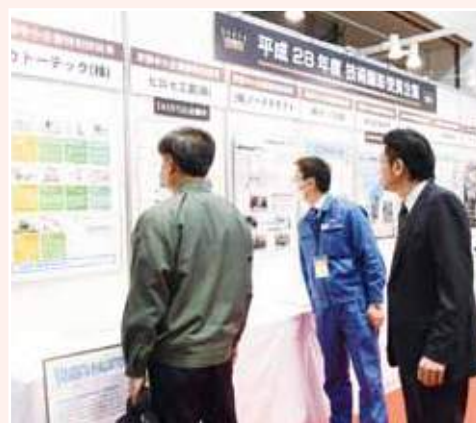
◆技術大賞：トクデン(株)

◆優秀技術賞：応用電機(株)、(株)カシフジ、(株)菊水製作所、(株)テック技販、(株)ノードクラフト、ヒロセ工業(株)[五十音順]

◆特別技術賞：カトーテック(株)

これまでの表彰企業は、ホームページでご紹介しています。

⇒ <https://www.ki21.jp/technology/>



受賞企業の優れた技術を紹介

平成29年度 京都中小企業技術大賞 候補募集!

募集期間

平成29年3月1日(水)～4月28日(金)

独創性のある優秀な新技術を開発し、製品化された皆様へ 是非、ご応募下さい

応募方法

①募集要項、申請書を財団ホームページからダウンロードして下さい。 <https://www.ki21.jp/technology/h29/boshu/>

②対象とする「技術又は製品」を一つ特定し、以下の書類を提出して下さい。

○必須書類：申請書、直近3年の各年度決算書類

○任意書類：企業紹介パンフレット、対象の「技術又は製品」についての資料

応募資格

①京都府内に本社を置く中小企業

②対象とする技術・製品の売り上げ実績があること

提出先

下記に郵送(当日消印有効)または持参して下さい。

〒600-8813

京都市下京区中堂寺南町134 京都府産業支援センター

(公財)京都産業21 イノベーション推進部 産学公住連携グループ

審査概要

学識経験者・産業界代表・行政機関で構成する委員会によって審査し選考します。

【1】独創性 【2】時宜に適し優秀 【3】研究開発の積極性
【4】健全な経営 【5】他企業の模範

選考結果

全企業に書面で選考結果を通知します。

※平成29年9月～10月頃の予定

お問い合わせ先

(公財)京都産業21 イノベーション推進部 産学公住連携グループ
TEL:075-315-9425 FAX:075-314-4720 E-mail:sangaku@ki21.jp



同時開催イベント

KYOTO DESIGN WORK SHOW ～ものづくり企業とデザインのマッチング～

デザイン会社が出展しそれぞれのデザイン事例を紹介。自社製品の開発やブランド展開などにデザイナーの活用を求める企業・経営者とのビジネスマッチングの機会を提供しました。

京・知恵舞台

「知恵の認証制度」を活用した企業10社が、それぞれの強みと知恵を活かして展開する事業の取組成果を披露しました。熱気にあふれた発表が、企業の成長を目指して挑戦する方々の意欲を高める好機となりました。

京都産学公連携フォーラム2017

ものづくり企業が参考とすべきIoTの最新トレンドや企業の取り組み事例に関する基調講演とともに、京都にある理工・医科系の12の大学・企業が研究シーズについてプレゼンテーションを行い、研究者と企業経営者、技術者との出会いの場を提供しました。



開催概要

- 日時：2017年3月1日(水)・2日(木) 10:00～17:00
- 会場：京都パルスプラザ(京都府総合見本市会館)／京都市伏見区竹田
- 主催：京都府、(公財)京都産業21
- 共催：(一財)京都府総合見本市会館
- 後援：近畿経済産業局、京都市、京都商工会議所、(一社)京都経済同友会、(公社)京都工業会、京都産業育成コンソーシアム、京都産学公連携機構、(公財)全国中小企業取引振興協会
- 協賛：大阪ガス(株)、オムロン(株)、京セラ(株)、(株)京都銀行、京都信用金庫、京都信用保証協会、京都中央信用金庫、京都リサーチパーク(株)、サムコ(株)、(株)島津製作所、(株)SCREENホールディングス、ニチコン(株)、日新電機(株)、(株)日本政策金融公庫、(株)堀場製作所、村田機械(株)、(株)村田製作所、(株)ユーシン精機、ローム(株)

(50音順)

◆今年度開催予告◆

「京都ビジネス交流フェア2018」

開催日：2018年

2月15日(木)～16日(金)

会 場：京都パルスプラザ
(京都府総合見本市会館)

お問い合わせ先

(公財)京都産業21 ものづくり支援部 販路開拓グループ TEL:075-315-8590 FAX:075-323-5211 E-mail:bpstaff@ki21.jp

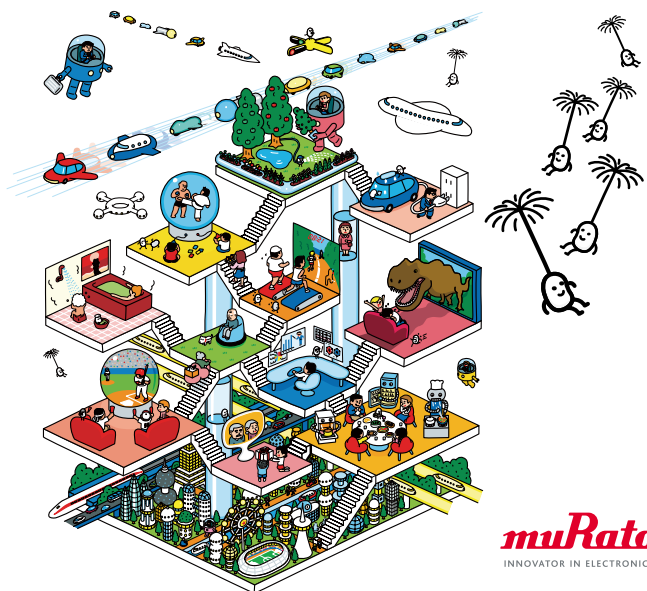
ムラタの部品が未来を創る。

未来ってどうなっているんだろう？

空飛ぶ車、ロボット、飛び出す映画・・・。
私たちの仕事は電子部品というタネを、エレクトロニクスの世界に送り込むこと。
つまり、あなたが想像する豊かな未来を実現すること。
携帯電話、カーナビ、パソコン・・・。
ほら、ちょっと前に想像していた未来が、もう今は実現されているでしょう？
私たちの創る小さな部品は、未来の始まり。
小さな部品で、エレクトロニクスの世界にたくさんの花を咲かせていきます。

村田製作所は、電気を蓄える積層セラミックコンデンサ、必要な電気信号だけを取り出す高周波フィルタをはじめ、携帯電話、パソコンなどのあらゆる電子機器に不可欠な各種電子部品の開発、製造、販売を行っています。

株式会社村田製作所 本社：〒617-8555 京都府長岡京市東神足1丁目10番1号
お問い合わせ先：広報室 phone:075-955-6786 http://www.murata.com



muRata
INNOVATOR IN ELECTRONICS

平成29年度 公益財団法人京都産業21事業計画

(公財)京都産業21では、様々な産業支援機関としっかりと連携協力するとともに、フェイス トゥ フェイスのコミュニケーションで築いてきた顧客である府内中小企業との信頼関係をしっかりと維持して、製造業をはじめ、商業・サービス業を含めたより広範な府内中小企業の販路開拓支援としてのマッチング、経営力強化のための人材育成や経営計画策定の支援など、企業によって異なる課題に対し、多様なメニューで伴走支援に総力を挙げて取り組むこととし、次の事業を実施します。

■ 事業計画の概要

1 相談・広報

- (1) 専門家派遣・窓口相談事業
- (2) 情報提供事業
- (3) 専門的・高度人材活用事業
- (4) ワンストップ相談

2 経営課題の解決

(1) 販路開拓

- ・受発注情報提供事業
- ・マーケティング支援事業
- ・北京都ものづくり拠点構想推進事業
- ・アライアンス推進支援事業
- ・試作産業推進事業
- ・京都「新文化産業」強化支援事業
- ・京都エコノミック・ガーデニング支援強化事業
- ・「企業の森」推進事業

(2) 設備投資

- ・小規模企業者等ビジネス創造設備貸与事業(割賦・リース)
- ・京都エコノミック・ガーデニング支援強化事業
- ・「企業の森」推進事業
- ・旅館等受入環境整備補助事業

(3) 人材の育成

- ・若手経営者・事業後継者育成力レッジ事業
- ・未来志向型経営人材育成事業
- ・北部産業活性化拠点・京丹後推進事業

(4) IT(情報技術)の活用

- ・IT活用促進支援事業
- ・広域連携ネットワーク事業

(5) 海外販路開拓

- ・京都企業市場開拓支援事業
- ・外国出願支援事業

3 経営革新・企業連携・新事業の展開

(1) 経営・事業計画の支援

- ・中小企業研究開発等応援事業受託事業
- ・知恵の経営の推進

(2) 起業・創業・事業継続

- ・中小企業事業継続・創生支援センター事業

(3) 企業連携

- ・「企業の森」推進事業
- ・交流連携促進事業
- ・オープンイノベーション促進事業
- ・アライアンス推進支援事業
- ・KIIIC(京都産業創造クラブ)事業

(4) 産学公連携

- ・交流連携促進事業
- ・オープンイノベーション促進事業
- ・地域産業育成産学連携推進事業

(5) 新産業育成・地域振興

- ・きょうと元気な地域づくり応援ファンド事業
- ・きょうと農商工連携応援ファンド事業
- ・ベンチャー企業ソフト支援事業
- ・けいはんなオープンイノベーションセンター管理運営事業

(6) 技術顕彰

- ・京都中小企業技術顕彰

(7) 新事業創造・正規雇用創出

- ・京都次世代ものづくり産業雇用創出プロジェクト
- ・観光産業正規雇用化促進事業

各事業の詳細については、財団ホームページ、本情報誌で随時ご紹介します。

お問い合わせ先

(公財)京都産業21 企画総務部 企画・総務グループ TEL:075-315-9234 FAX:075-315-9240 E-mail:somuka@ki21.jp

京都次世代ものづくり産業雇用創出プロジェクト

京都ライフサイエンスプロジェクト成長展開事業

「iPSネット」活動紹介

iPS関連産業への参入・事業拡大を支援

京都を「iPSのみやこ」とするべく、2016(平成28)年6月、iPSに興味を持つ企業を集めた「iPSネット」を立ち上げました。京都のものづくり企業と、これからの産業として期待されるiPSを結びつける新たな取り組みです。

6月30日のキックオフセミナーから会員募集を開始し、2017(平成29)年2月現在で160名を超えるまでに拡大。

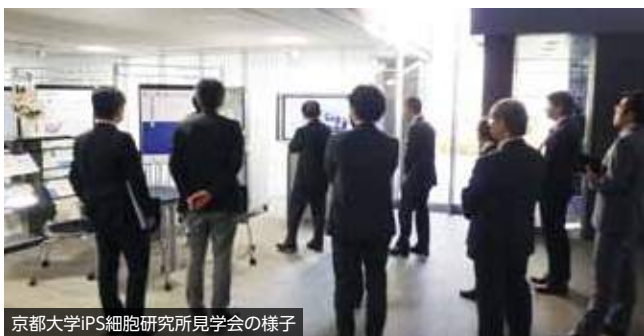
これまで主な活動として、「iPS人材研修」、「研究施設見学会」、「iPSネットセミナー」を開催してきました。

「iPS人材研修」は、実際にiPS細胞の培養操作を体験し、ビジネスの着想を得ることを目的に7月25日を皮切りに、スタートアップ研修(2日間コース)を5回と、培養人材研修(3日間コース)を2回開催しました。参加者からは「細胞培養は予想以上に煩雑な作業を手作業で行っていた」という声が多く聞かれました。全く異分野と思える企業の参加もありましたが、それぞれの業界でビジネスチャンスを感じとられた様子でした。



iPS人材研修の様子

「研究施設見学会」は、1月30日にiPS細胞研究のトップランナーである「京都大学iPS細胞研究所(CiRA)」を訪見し、iPSネット会員27名が参加されました。iPS細胞研究の最先端に触れることができ、参加者は熱心に見学、また質問をしており、実際の研究の現場に対する関心の強さを感じる光景でした。



京都大学iPS細胞研究所見学会の様子

「iPSネットセミナー」は、2月15日に第1回を開催。京都大学iPS細胞研究所の井上治久教授や堀田秋津特定拠点講師、国立研究開

発法人理化学研究所BRCの中村幸夫室長といった研究者の講演のほか、iPS関連産業に参入した企業事例として(株)片岡製作所の片岡宏二社長が登壇、セミナー内では「新しい分野への進出は常に考えており、既存の技術を使いながら新たな市場をつくりだす挑戦でした。多様な機関とのパートナーシップにより製品開発が実現した」と語るなど、iPS関連ビジネスという新分野への進出の思いや、その経営手法を語る内容でした。



iPSネットセミナーの様子

経済産業省によれば、再生医療の関連分野は2050年に世界市場で15兆円規模になると試算されており、今後のビジネス展開が期待されています。この流れに乗り遅れないようにと、iPS分野には大手企業も含め異業種からの参入が次々と進んでいます。ニュース等でも多く扱われ、チャレンジすべき産業として注目されている中、ヒト・モノ・カネが十分とは言えない中小企業では、何より早く正確な情報を掴み、自社の強みが活かせるかを見極め、迅速に経営判断をすることがポイントになります。

iPSネットとしても、刻一刻と変わるiPS産業の流れに注目し、今後とも会員企業に有益な情報提供や機会提供に努め、企業のiPS事業拡大をサポートしていきます。

平成29年度も細胞基礎解説講座やiPS人材研修、市場ニーズをテーマとしたセミナーなどを検討しています。

iPSネットに興味のある方は以下のURLよりご確認ください。

<http://kyoto-koyop.jp/support/ips-net/>

iPSネット

※会員登録は無料

主な活動

- セミナー ○マッチング支援 ○参入・事業拡大の相談
- 情報提供 ○資金支援の案内 ○iPS関連人材の育成

対 象

再生医療分野で事業展開中または新規参入を検討している中小企業

[大手企業や、上記企業の取組みをサポートするファイナンス、公的産業支援機関等は「特別会員」(協力機関)として登録]

お問い合わせ先

(公財)京都産業21 イノベーション推進部 新産業創出グループ TEL:075-315-8563 FAX:075-314-4720 E-mail:life@ki21.jp

京都次世代ものづくり産業雇用創出プロジェクト

ネプコンジャパン2017出展報告

京都ものづくり中小企業12社が東京の展示会に出展! ～京都の高い技術力をアピール～

(公財)京都産業21では、「京都次世代ものづくり産業雇用創出プロジェクト」の一環として、アライアンス・販路拡大事業を実施しています。去る1月には、京都府内のものづくり中小企業の販路開拓を目指し、「ネプコンジャパン2017 微細加工EXPO」(東京ビッグサイト)に京都ブースを設け、府内中小企業12社による展示・商談会を開催しました。

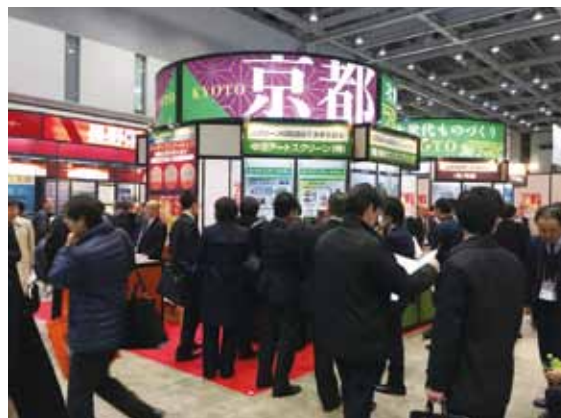
■展示商談会の成果

●会 期：平成29年1月18日(水)～20日(金)

●全体来場者：110,234人

〈京都ブース〉

- 名刺交換枚数……………699枚
- 商談件数……………180件
- 取引成約……………4件(2月末時点)



当日の展示会(京都ブース)の様子

来場者は前回よりも42%増と展示会は非常に活況で、中国、韓国、台湾等の東南アジアからの来場者も多く見受けられました。

京都ブースには、購買、資材の担当者をはじめ、関連展示会(オートモティブワールド、スマート工場、ロボテックス、ウェアラブル等)からの技術開発担当者も多数来場され、熱心に展示品の説明を聞いて、真剣な商談が行われ、時流に乗った首都圏の展示会への団体出展の手応えを感じました。同時に、予想以上に自動車やロボット関連の新技术に世の中のニーズが高いことも実感した展示会でした。

また、京都ブース内では、京都産業21のコーディネータがマッチングステーションを設置し、「企業マッチング」、「伝統産業マッチング」及び「産学連携マッチング」についてのニーズをお聴きし、大手の家電メーカーや情報機器メーカーから新事業商品開発に活用できそうな京都企業(伝統工芸関連を含む)を紹介して欲しい等の相談にお応えしました。

今後も府内中小企業の首都圏における販路の開拓を支援してまいります。

出展企業 (50音順)

(株)韋城製作所(京丹後市)、(株)木村製作所(長岡京市)、(株)阪村エンジニアリング(伏見区)、城陽富士工業(株)(城陽市)、双和電機(株)(伏見区)、高木金属(株)(伏見区)、(株)テック技販(宇治市)、(株)常盤(南区)、中沼アートスクリーン(株)(宇治市)、ヒロセ工業(株)(京丹後市)

■出展企業の主な感想

- 東京の展示会は初参加でしたが、京都内では得られない商談や情報の獲得もあり、実際にビジネスに繋がる商談が約10件ありましたので、今後フォローアップして実需につなげていきたいと思っています。次回機会にも是非参加させて頂きたいと思っています。
- 展示会当日たくさんの来場者が来られ、34社と商談をすることもでき、今後のフォローアップでビジネスにつながると喜んでます。
- 今回は、微細加工EXPOでの出展でしたが、車載関連(オートモティブ)、ロボットなどのカテゴリーに注目が集まっていました。これから伸長が期待できる分野での出展等検討し、京都ブースのさらなる進化を目指していただきたい。
- 面談数、内容ともに充実していた印象で、今後の営業活動に繋がるお客様との出会いが多かったように感じます。関西の展示会に比べて、技術者の方の来場も多くニーズの収集のためにも良かったと思います。来場者は自動車関連の東館と比較して少なくは感じましたが、多すぎても対応が困難なので、お話をするには丁度良いのかなと感じておりました。

■展示・商談の様子



お問い合わせ先

(公財)京都産業21 ものづくり支援部 販路開拓グループ TEL:075-315-8590 FAX:075-323-5211 E-mail:alliance@ki21.jp



“けいはんな”発、元気企業



けいはんな支所では、ビジネスマッチング等の財団事業の窓口として、地域内の企業をサポートしています。「けいはんな」発、元気企業シリーズでは、「けいはんな」で生まれチャレンジし続ける企業や他の地域からけいはんなに移転された元気な企業の代表者にお話を伺います。

キノコで黒大豆を発酵させたユニークな化粧品を開発

ヘルスビューティー株式会社

<http://www.hbeauty.jp/>

「キノコ発酵」との出会いと研究開発



代表取締役 杉田 征彦 氏

弊社は2004(平成16)年に敏感肌用基礎化粧品の開発と販売を目的に設立しました。当初は、妻と2人で通信販売を営んでおりましたが、その妻が2010(平成22)年に病で入院し、退院後、食事をほとんど受け付けず、病後衰弱が続きました。そんなとき、たまたま手にした丹波黒大豆のきな粉を重湯と一緒に与えることで、衰弱から回復していきました。

黒大豆の滋養効果に驚いた私は、黒大豆の健康食品の開発に着手しました。そして、滋養効果をさらに上げる黒大豆の発酵法を調査するなかで、「キノコ発酵」というユニークな技術を探し当てました。

そこで、キノコ発酵研究の第一人者である武庫川女子大学の松井徳光教授に師事し、御協力を得る中で約3年間、200種類以上のキノコの中で最も滋養効果の高いものをスクリーニングする研究を続けた結果「キノコ(霊芝)で黒大豆を発酵させた健康食品」を開発することができました。

キノコ発酵の特徴は、キノコ由来の酵素で食品のタンパク質や炭水化物をアミノ酸や糖類に分解するだけでなく、発酵時に生じるキノコの代謝物に、体内脂質の酸化を防ぐ抗酸化作用や血栓を溶かす線溶活性など、生活習慣病を予防する機能が付加されることです。

その後の研究において、キノコ発酵物に紫外線によるシミの生成を防ぐ「チロシナーゼ阻害活性」や、肌が本来持つ保湿成分である「NMF(天然保湿因子)」と類似の成分を含むことを発見できました。

もともと化粧品開発を生業としてきたことから、これまでの研究実績を応用し、キノコで米を発酵させた化粧品原料(マッシュファムSR)とそれを配合した基礎化粧品を開発し、新たな化粧品開発へ取り組んでいるところです。



マッシュファムSR配合化粧水

けいはんなオープンイノベーションセンター(KICK)での取組

キノコ発酵を応用した新たな化粧品原料を研究するため、けいはんなオープンイノベーションセンター(KICK)に入居し、現在は、思い入れのある黒大豆を使った化粧品開発に取り組んでいます。

大豆に含まれるイソフラボンをキノコで発酵させることにより、肌のコラーゲン合成能を活性化することが期待できる「アグリコン型イソフラボン」を多く産生することから、松井教授と共同で「京都産丹波黒大豆をキノコで発酵させた化粧品原料」及びそれを含有したアンチエイジング基礎化粧品の研究開発を推進しています。これからもKICKを拠点として、消費者に喜ばれる製品化の実現に向けて努力していきます。

Company Data

ヘルスビューティー株式会社

代表取締役/杉田 征彦

所在地/本社研究所:京都府木津川市木津川台9丁目6番地

京都府相楽郡精華町精華台7丁目5番地1

けいはんなオープンイノベーションセンター(KICK)202号室

電話/0774-66-5352 ファクシミリ/050-3737-1743

設立/平成16年11月

事業内容/化粧品、健康食品の研究開発、製造および販売

お問い合わせ先

(公財)京都産業21 けいはんな支所 TEL:0774-95-2220 FAX:0774-66-7546 E-mail:kick@ki21.jp

オムロン株式会社



OMRON

オムロンがめざしているのは「便利」だけではありません。テクノロジーの力で、もっと笑顔を増やしたい。もっと夢を叶えたい。たとえば、どんな球を打っても一番打ちやすい場所に返してくれる卓球ロボット。誰でも長くラリーを楽しむことができる、センシング&コントロール技術のシンボルです。オートメーションの進歩は、今までできなかった事を可能にし、新しい幸福を生み出すと信じています。

人間は、もっとやれる。

京都次世代ものづくり産業雇用創出プロジェクト

新産業創造事業化研究会の紹介

京都次世代ものづくり産業雇用創出プロジェクト事業では、「北京都産学連携事業化推進事業」として京都北部地域における産学公連携を推進し、研究開発から事業化までを一貫支援しています。

発注企業との縦の連携から産学公による横の連携により、イノベーション創出を目指す「新産業創造事業化研究会」を2016(平成28)年11月に結成しました。

京都北部地域での新産業創出・雇用創出を目指した新産業創造事業化研究会

京都北部地域のものづくり産業は、自動車・家電関連部品等の下請け加工を中心に発展してきましたが、経済のグローバル化に伴う産業構造の変化により、従来どおりの下請けだけでは事業継続が困難になることが予想されます。一方、国内では地域創生が叫ばれ、北部の各自治体等では業種・業態を超えた様々な活性化に向けた地域ビジネス等の事業展開の取組みがされようとしています。

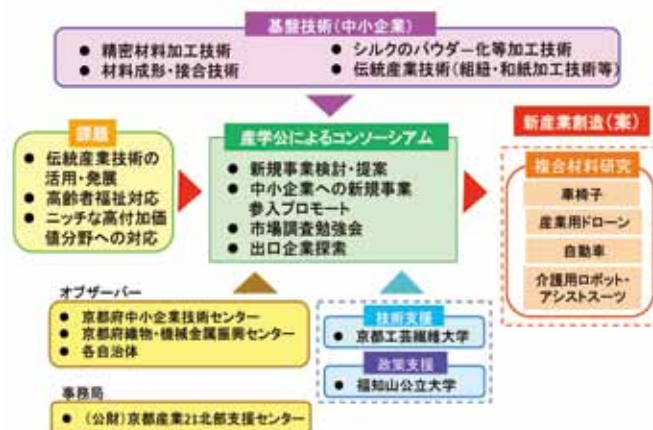
このような状況下、京都北部地域では京都工芸繊維大学の地域密着型の新たな北部拠点として福知山キャンパスが設置されるとともに、地域経営学部を有する福知山公立大学がスタートするなど、北部地域活性化に寄与する環境が整いつつあります。

そこで、地域の大学や、公的支援機関等が連携して北部地域の中小企業の強みを活かした新産業を創出し、事業化を目指す「新産業創造事業化研究会」を昨年11月に結成し、京都北部の地域活性化を目指します。

第1ステップとして、航空機等へ応用されている炭素繊維強化複合材料(CFRP:Carbon Fiber Reinforced Plastics)を用いた車椅子の技術開発を研究会メンバー・京都工芸繊維大学等と連携して推進しようと、材料面や出口の活用分野の勉強、スムーズな実用化に向けた技術経営(MOT)の勉強をしました。そして、今後複合材料活用製品の研究開発のための競争的資金の獲得をめざすとともに、複合材料の用途拡大を図るため、産業用ドローンへの応用技術開発等も検討しています。

ご興味を持たれた方は、事務局までお問い合わせください。

新産業創造事業化研究会 推進スキーム



〈新産業創造事業化研究会の概要〉

- 研究テーマ：地域や社会ニーズに合う複合材料を活用する研究開発
- 対象者：大学等との連携によりイノベーションを起こして新産業の創造・事業化を図ろうとする企業または団体(入会：随時)
企業11社、大学2大学、オブザーバー8機関
(平成29年2月13日現在)
- 期 間：平成28年11月12日から平成31年3月31日
- 事務局：公益財団法人京都産業21北部支援センター

お問い合わせ先

(公財)京都産業21 北部支援センター TEL:0772-69-3675 FAX:0772-69-3880 E-mail:hokubu@ki21.jp

京都次世代ものづくり産業雇用創出プロジェクト

平成29年度「人材活躍支援」「高度専門家派遣支援」の募集を開始します!

京都次世代ものづくり産業雇用創出プロジェクト「全員参加型」イノベーション創造支援事業では、今年度も、事業拡大や新分野進出など新たなイノベーションに取り組む企業を対象とした事業を実施します。

■人材活躍支援

事業拡大や新分野進出等に必要な人材を雇用した場合、人件費の80%以内を補助します。

区分	要件等	補助上限額
中核人材	必要な技術や知識等を有し、取り組みの中心となり事業を推進する者	140万円/人
推進人材	中核人材が推進する事業を補助・サポートする者	100万円/人

※1事業者2人まで(推進人材のみは不可)

■高度専門家派遣支援

事業拡大や新分野進出のため、助言を行う専門家の派遣を支援します。

支援内容	負担割合
専門家の派遣に要する謝金、旅費	財団:2/3 企業:1/3
●派遣時間:50時間以内 ●対象経費:90万円以内	

※専門家は財団からの紹介のほか、申請者の提案・希望も可能

募集期間、要件等詳しくは、雇用プロジェクトホームページ(<http://kyoto-koyop.jp/>)をご覧ください。

お問い合わせ先

(公財)京都産業21 京都次世代ものづくり産業雇用創出プロジェクト推進センター TEL:075-315-9061 FAX:075-315-9062 E-mail:koyop@ki21.jp

「平成28年度現場力向上ワーキング塾」開催報告

自ら改善策を考え、問題解決力がある現場を目指す

～北部支援センター&よろず支援拠点の連携事業～

北部支援センターでは、昨年度に引き続きよろず支援拠点との連携により「平成28年度現場力向上ワーキング塾」を8ヶ月間にわたり実施しました。

この取り組みは、経営者の意識を変え現場力を向上し、安全・快適・能率的な職場をつくり、儲ける生産体制に変革しようとするものです。単発的なセミナーとは異なり、研修内容の改善実践に寄り添い、継続して伴走支援する取り組みです。

今年度は、第1ステージ(初参加)、第2ステージ(昨年度から継続参加)とステージを分け、初回(5月)の事前ヒアリングで、参加企業の課題と方向性を明確にし、6月～12月まで課題解決に取り組み、12月にはそれぞれの企業が成果発表を行いました。(具体的な取り組みは下記概要のとおり)

今後も、参加企業を定期的に訪問し、現場力の強い企業への変革を目指して継続的に支援していきます。なお、今年度の成果と反省を踏まえて、次年度もさらに内容を充実させて現場力向上ワーキング塾を開講する予定です。

【現場力向上ワーキング塾概要】

目 的	①現場力とは「自ら問題を発見して、改善策を立て、自ら改善を実施する力」と定義して企業の現場力を向上させる。 ②生産活動の下支えになる3S活動を展開するなかで現場整備、生産人材育成、モノづくりに対する意識改革を進める。 ③3S活動の実践から見えてくる個別改善テーマの改善活動を通じ、事実をデータで把握し、事実に基づくモノづくり、管理を進める。
内 容	●第1ステージ(初参加):3S3定の基本理解と導入・実践、個別課題の検討 ●第2ステージ(昨年度から継続参加):改善事例の積み重ね、新たな個別課題の検討、中級改善手法習得
期 間	平成28年5月～12月 ①企業訪問事前ヒアリング(5月) ④フォローアップ6回(8月～12月) ②各ステージ別合同座学2回(6月、7月) ⑤合同成果発表(12月) ③企業訪問による個別指導5回(8月、9月、10月、11月、12月)
参加数	北部企業6社15人(第1ステージ企業3社、第2ステージ企業3社)
講 師	京都府よろず支援拠点 コーディネーター 小澤 慶男

注)3S3定の活動取り組みとは、工場内を整理・整頓・清掃を行い、安全・快適・能率的な職場(職場の環境改善)をつくり、ムダを排除し、業務の効率化を図ること。



個別指導



合同座学



3S活動が進んだ現場



【参加企業の成果及び感想】

〈具体的な成果〉

- 現場がすっきりとして動きやすくなり、さらに何年も手つかずの倉庫の整理整頓もできました。
- 3S3定の基本的なところから教えていただき、若手教育に役立ちました。
- 整理整頓が実施でき、棚の削減・棚の高さ制限等も同時に行う事ができました。また使用頻度に応じて仕分けを行ったことで、作業者の要望にも応えられる状況になったと感じています。
- レイアウトを変えたことにより、各工程が、点から線の状態になり、全員がボトルネックがどこで発生しているのか認識できる状況になりました。
- 問題解決力の弱さ・現場の改善不足等、自社のレベルが再認識できたことが最大の成果でした。

〈感想〉

- やるべきことの方向性が分かり、目標に向かって前進できていると思うので参加できて良かったです。
- 外部の方から客観的に見た意見を聞けるので進めやすかったですし、ご指摘を頂けるのでありがたかったです。これからもこういう場が欲しいです。
- 今まで色んな問題点、課題などが潜在化していましたが、活動を行う事により見える様になり、これから一つずつ解決してきたいと思います。
- 指導を受けたことで、従来から自社だけでは進まなかった改善の流れを大きく揺れ動かす事となり、自社の意識を変える面で非常に良かったと感じています。ファーストステージで動き始めた流れを止めずに、セカンドステージに当社も参加が出来るようにしたいと強く感じています。



成果発表

お問い合わせ先

(公財)京都産業21 北部支援センター TEL:0772-69-3675 FAX:0772-69-3880 E-mail:hokubu@ki21.jp

創業・経営革新に必要な機械・設備・車両・ソフト等の導入を支援します。

設備投資なら、財団の割賦販売・リース



小規模企業者等ビジネス創造設備貸与(割賦販売・リース)制度

本制度は、小規模企業者等の方が経営革新に必要な設備を導入する場合、又は、これから創業しようとする方が必要な設備を導入する場合に、希望の設備を財団が代わってメーカーやディーラーから購入して、その設備を長期かつ固定損料(金利)で割賦販売(分割払い)またはリースする制度です。

■ご利用のメリットと導入効果

- 信用保証協会の保証枠外で利用できます。
- 金融機関借入枠外で利用できます。
→運転資金等の資金調達枠を残したまま、設備投資が可能です。
- 割賦損料・リース料率は、固定損料(金利)の公的制度です。
→安心して長期事業計画が立てられます。先行投資の調達手段として有効です。



区 分	割賦販売	リース
対象企業	原則、従業員20人以下(ただし、商業・サービス業等は、5名以下)の企業ですが、最大50名以下の方も利用可能です。 ※個人創業1ヶ月前・会社設立2ヶ月前～創業5年未満の企業者(創業者)も対象です。	
対象設備	機械・設備・車両・プログラム等(中古の機械設備、及び、土地、建物、構築物、賃貸借用設備等は対象外)	
対象設備の金額	100万円～1億円/年度まで利用可能です。(消費税込み)	
割賦期間及びリース期間	10年以内(償還期間)(割賦期間3年以上10年以内)	3～10年(法定耐用年数に応じて)
割賦損料率及び月額リース料率	年1.6%/年1.9%(2段階) (設備価格の10%の保証金が契約時に必要です)	3年 2.967%～ 4年 2.272%～ 5年 1.847%～ 6年 1.571%～ 7年 1.370%～ 8年 1.217%～ 9年 1.101%～ 10年 1.008%～
連帯保証人	原則不要 ※法人の場合は、代表者の個人保証が必要です。但し、「経営者保証に関するガイドライン」に則し判断します。	

※商工会議所・商工会の推薦があれば割賦・リース期間を最大10年を限度に2年間延長することが可能です。事前にご相談ください。

創業・経営革新に必要な機械・設備・車両・ソフト等の導入を支援します。

- ◆目的：創業、又は小規模企業者等の経営革新を支援するための制度です。
- ◆特長：低利・長期・伴走支援をキャッチフレーズとして、小規模企業者等の支援を行います。

■設備投資の際は、是非一度お問い合わせください。■

小規模企業者等
ビジネス創造設備貸与制度
公的資金なら安心有利です!



お問い合わせ先

(公財)京都産業21 ものづくり支援部 設備導入支援グループ TEL.075-315-8591 FAX.075-323-5211 E-mail:setubi@ki21.jp

下請
取引

事業
承継

労使
関係

契約
相談

借金
関係

会社
整理

迷わずご相談ください

公益財団法人京都産業21顧問弁護士
ベンチャー事業可能性評価委員会委員
下請かけこみ寺登録相談弁護士

弁護士法人 田中彰寿法律事務所

代表社員 弁護士 田中彰寿



〒604-0864
京都市中京区両替町通夷川上ル松竹町129番地
電話075-222-2405

弁護士法人 田中彰寿法律事務所



設備貸与企業紹介

有限会社創研社

<http://souken-sya.com/>

取材

薄板精密板金加工全般の一貫体制を構築

当社は1988(昭和63)年の創業以来、精密板金加工業を営んできました。医療機器・分析機器・産業機器などの薄板精密板金加工全般を手掛けており、溶接・仕上げまでの一貫体制を構築しています。なかでも特に注力してきたのは、技術者の経験が仕上がりに大きな影響を及ぼす溶接・曲げ加工です。30余年にわたり培ってきたノウハウを最大限に活かした製品は、品質・スピード・価格において顧客から高い評価をいただいています。

そのなかで課題となっていたのが、小型自動スタッド溶接加工機の老朽化です。溶接には様々な方法がありますが、母材にピン(ネジなど)をつけるスタッド溶接は、仕上がりの美しさから広く使われている加工方法の一つです。以前から、加工機のトラブルによる生産性の低下、修理費用の増大に頭を悩ませていました。また小型ゆえ、大型製品は手溶接で対応することになります。スタッド溶接は目で確認することが難しく作業には相当の緊張感を要することから、大型を導入したいという思いがありました。しかし近年は、経



溶接・仕上げまでの一貫体制を構築



最新の大型自動スタッド溶接加工機

お問い合わせ先

(公財)京都産業21 ものづくり支援部 設備導入支援グループ TEL.075-315-8591 FAX.075-323-5211 E-mail: setubi@ki21.jp

最新の大型自動スタッド溶接加工機の導入で 精度・生産性の大幅アップを実現

済不況などの影響もあり安易に設備投資することはできません。そこで、創業時にも支援いただいた設備貸与制度を利用することにしました。大きなメリットは、金融機関の借入枠を残したまま低金利での資金調達が可能となる点にあります。結果、最新の大型自動スタッド溶接加工機の導入を実現することができました。



専務取締役 山本 将義氏

精度・生産性・対応力が大幅に向上

今回の導入により生産性は20~30%向上しました。幅広いサイズに対応可能で、手溶接を行っていた大型製品も倍以上のスピード、しかも高い精度で加工できます。また、最初のデータ入力を正確に行いさえすれば、どのスタッフでも容易に操作できる点も魅力です。システムは遠隔操作できるため、トラブルの内容によっては電話1本ですぐに解決できるようにもなりました。当社の強みを後押しするだけではなく、安心感を持って作業できること、今まで以上に自信を持って納品できるようになったことは大きな収穫です。

今後はこの加工機をフルに活かし、より高い技術を要する製品の製作に取り組んでいく所存です。並行して、例年出展している京都産業21主催の「京都ビジネス交流フェア」などを通じて、販路拡大に努めていきたいと考えています。

Company Data

代表取締役/山本 茂

所在地/京都府宇治市横島町十六10番地

電話/0774-24-3075 ファクシミリ/0774-24-8785

設立/1990(平成2)年10月

事業内容/薄板精密板金加工業



いま世界で楽しまっているソフトは
〈トーセ〉かもしれない。

Alaska
21:20

Kyoto
15:20

New York
01:20

Cairo
08:20

トーセは、エンタテインメントコンテンツを開発する
日本最大級の企画提案型、受託開発企業です。

地球のココロおどらせよう。

株式会社トーセ

京都本社/〒600-8091 京都市下京区東洞院通四条下ル <http://www.tose.co.jp/>

東証一部上場 4728

平成29年度 京都府中小企業技術センターの事業計画

府内の中小企業は、市場のグローバル化や取引関係の多様化、また急速な技術革新への対応等大変厳しい経営環境に置かれており、センターにおいては技術相談、依頼試験、機器貸付等の技術支援、人材育成、研究開発、情報発信を柱に様々な技術的支援を行っているところです。センターでは、「課題解決力」、「技術支援力」、「情報発信力」をより強化し、「頼りになる中セン」として京都府産業を支える中小企業の皆様の技術力向上を支援するため、以下の項目を重視しながら様々な取組みを行います。

I 企業連携によるイノベーションの推進

イノベーション創出を目指し企業連携により研究開発を行っている企業グループ等の技術開発や新事業展開のチャレンジを支援します。

II 技術課題のフォローアップ

技術課題に対して満足いただける解決を図るため、技術相談・依頼試験等を実施した後も、追跡調査、状況把握を行うことで、更に一歩踏み込んだ課題解決支援を行います。

III 府内製造業を俯瞰する業界調査等の実施

業界団体や企業が抱える技術的課題や取り巻く経済環境など、府内製造業の現状について調査・分析等を行い、よりきめ細やかな企業支援につなげることを目指します。

IV 関係団体との連携による新規顧客の開拓

広域振興局、府内市町村、産業支援機関や地域業界団体と連携し、技術的課題の収集及びその解決を目指すことで新規顧客を開拓します。

V 「北部産業創造センター(仮称)」の整備

現存の「北部産業支援センター・綾部」をリニューアルし、交流型次世代ものづくり拠点「北部産業創造センター(仮称)」の整備を行います。

事業計画の概要

1 中小企業の技術基盤の支援強化

- (1) 技術相談(所内及び現地技術相談、地域技術相談会など)
- (2) 依頼試験
- (3) 機器貸付

2 中小企業の未来を担う人材の育成支援

- (1) 研究会、セミナー・講習会の開催 ※
- (2) 京都府モデル工場会、センター協力会の活動支援

3 中小企業のニーズに呼応した研究開発の推進

- (1) 職員の研究調査、企業等との共同研究、企業からの受託研究、外部機関への委託研究などの実施
- (2) 伴走型支援としての企業連携技術開発

4 中小企業に役立つ情報を迅速に発信

- (1) 府内製造業の現状の調査分析事業の実施
- (2) 各情報発信媒体、施設公開・研究発表会の開催
- (3) 技術支援結果の積極的な活用の促進

5 地域産業の活性化

- (1) 「北部産業創造センター(仮称)」の整備
- (2) 新分野進出支援事業や新分野進出試作プロジェクト支援事業などによる北部地域のものづくり産業振興
- (3) けいはんな地域における大学・研究機関・企業との連携推進

6 時代に即応した産業支援の振興

- (1) 溶接技術指導事業、表面処理技術支援事業、SiCパワーデバイス活用支援事業
- (2) 電磁環境両立性(EMC)国際規制対応支援事業
- (3) デザインワーク展示事業、デジタル映像コンテンツ活用促進事業

※研究会等のスケジュールについては本紙14頁に掲載しています

お問い合わせ先

京都府中小企業技術センター 企画連携課 企画・情報担当 TEL:075-315-8635 FAX:075-315-9497 E-mail:kikaku@mtc.pref.kyoto.lg.jp

平成29年度 京都府中小企業技術センターの研究会、セミナー・講習会等の紹介

当センターでは、中小企業の技術基盤の強化・技術者等の養成・新事業展開の支援など企業ニーズに応えた、各種研究会、セミナー・講習会等を開催します。

1. 研究会

担当	名称	予定回数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
本所	京都品質工学研究会	7回		○	○		○	○	○		○		○	
	CAE技術研究会	17回	○	◎	◎	◎	◎	◎	○	○	○	○	○	○
	表面処理技術研究会	2回				○					○			
	京都光技術研究会	8回	○	○		○	○		○	○		○	○	
	新工芸研究会	12回	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	京都実装技術研究会	6回	○		○	○		○		○				○
	中小企業SiCパワーデバイス活用研究会	3回				○			○			○		
支援室 中丹技術	製品開発企画研究会	5回			○		○		○		○		○	
	マグネシウム製品開発研究会	6回	○		○		○		○		○		○	

2. セミナー・講習会等

担当	名称	予定回数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
本所	研究成果発表会	1回					○							
	企業情報化支援セミナー	3回			○				○			○		
	機器操作講習会	9回				○	◎		◎	◎		◎		
	機械設計基礎講座	2回			○				○					
	ものづくり先端技術セミナー	4回				○		○		○		○		
	品質工学セミナー	2回				○						○		
	環境セミナー	2回			○					○				
	3D技術活用セミナー	4回			○			○		○		○		
	EMC技術セミナー	4回			○		○		○		○			
	光ものづくりセミナー	4回			○				○		○			○
	ナノ材料応用技術セミナー	2回						○						○
	食品・バイオ技術セミナー	3回						○	○			○		
	京都グッドデザイン戦略支援セミナー	2回		○						○				
	映像制作技術講習会	7回		○	○	○		○	○	○				○
	実装技術スキルアップセミナー	2回							○				○	
中丹技術支援室	加工技術高度化セミナー	2回											○	○
	品質管理(QC)基礎講座	8回				◎	●							
	機器操作・活用セミナー	10回			◎	◎		◎	◎	◎				
	材料解析技術セミナー	2回									○	○		
	新分野進出支援講座	1回										○		
	工業技術研修	105回	機械科コース:37回 電気コース:37回 機械科上級コース:31回											
分室 けいはんな	京都大学宇治キャンパス産学交流会	4回			○			○			○		○	
	同志社大学けいはんな産学交流会	1回							○					
	けいはんな技術交流会	2回											○	○

注：開催時期等は予定です。変更する場合がありますので、詳細は当センターのホームページをご覧ください。

(○:月内1回、◎:月内2回、●:月内6回 を予定)

※研究会は会員制となっております。参加を希望される方は当センターまでお問合せ下さい。

※セミナー・講習会等の参加募集は概ね1ヶ月前にホームページやメールマガジンなどで行う予定です。

お問い合わせ先

京都府中小企業技術センター 企画連携課 企画・情報担当 TEL:075-315-8635 FAX:075-315-9497 E-mail:kikaku@mtc.pref.kyoto.lg.jp

府内に立地された企業の中から、特に自社の強みに焦点をあてて、企業としての活動内容や特徴についてご紹介します。

「メタルカラー」って何?!

—それは、主に医薬品包装材料の開発から製造販売までする会社です。

どうして「工業団地アネックス京都三和」?!

—それは、福知山3工場での効率的な生産や人材確保のためです。

～医療用包材の歴史とともに半世紀 それは過酷な品質管理の追求でもあった そして今…～



代表取締役社長 森田 勝彦 氏

創業以来(半世紀)、アルミ箔を基材として、オーダーメイドで医薬品・食品向け包装材料を製造・品質保証まで社内で一貫して行い、特に厳格な品質管理を求められる製薬会社等の顧客に対しても、その信頼と期待に応えてきたスタッフを財産として「創造的技術開発者集団」を目指す株式会社メタルカラーの代表取締役森田 勝彦 様にお話を伺いました。

「メタルカラー」の由来

株式会社メタルカラーは、1964年9月にアルミ箔を主材料とした包装材料の製造販売を目的として設立されました。社名の由来としては、金属(アルミ箔)に着色することから、「メタルカラー(Metal Color)」と命名されたものです。今日まで、「常に一步早く、一味違う価値ある技術と製品の創造に挑戦する」ことを経営方針の一つとして、ニッチな市場を対象にした技術の開発に挑戦し続けてきました。

どんな会社?

包装材料部門では、医薬品や食品など・包装材料をオーダーメイドで製造。品質保証までを一貫して行います。インキ・コーティング剤の製造会社をグループ会社により、原料からの開発製造が行なえます。健康食品部門では機能性基原料を元に抽出、分離、濃縮、殺菌、乾燥(スプレードライ・フリーズドライ)、粉碎までの各種加工を社内で一貫加工できます。

一筋縄ではいかないアルミ箔単体の加工

主力製品としては、PTP用包装材料(アルミ包材)と医薬品・化粧品包装用ラミネートフィルムなどがあり、その中でも当社の強みは、アルミ箔単体に対する2色、3色刷りの印刷加工技術と品質管理にあります。特にアルミ箔単体は性質上、多色刷りの際、同じ素材を何回も機械に通して印刷するとシワや伸び縮みができるため、高い精度で貼り合わせて仕上げることは至難の業といえます。さらに出荷に至るまでの医薬品メーカーから求められる品質・衛生管理レベルは非常に厳しく、この要求に応えてきたことで多大な信頼を得ることができ、当社の大きな強みとなっています。



保有機械

どうして工業団地アネックス京都三和?

厚労省通達「医薬品に関する新バーコード(RSSコード)表示」が義務化されることになり、新たにアルミ箔にバーコード印刷という難問が突きつけられました。

検討の結果、生産設備から見直す必要があり工場新設に踏み切ることになりました



薬用包装

た。最終的に工業団地であるアネックス三和に決めたのですが、決め手となったのは、①既存の福知山工場に距離が近く社員移動に抵抗が少なかったこと、②福知山工場からの物品移送が比較的に容易なことでした。



三和工場



おかげさまで、①建設前に比べて社員募集に対する応募が増え、特に綾部市や兵庫県からの応募者が増えたこと、②バーコード印刷にも対応できるようになり、好機を逃すことなく仕事の受注も増えていき、人材確保もスムーズに進んだことから、安定供給にもつながり大変喜んでおります。

人材育成で心がけていることは?

提案・改善制度により毎年全員で発表会を開催、表彰しており、社長自ら社員とできるだけ会話するなど現場に近い存在であることと改善活動が社員みなさんの風通しを良くし、これらが結果的に営業成績を押し上げる格好となり、「賞与」という形での還元が社員の「やる気」につながっていると思っています。

最後に

私たちは今後も「創造的技術開発者の集団」(＝メタルカラー)を目指し、未来に向かって挑戦を続けていきます。そして、お客様に満足される製品を提供し続けることによって、社会のお役に立つと共に、社員の幸せの増大を図ってまいります。

Company Data

株式会社メタルカラー

代表取締役社長／森田 勝彦

所在地／本社：〒577-0836 東大阪市洪川町1-13-22

電話番号／06-6728-8663 ファクシミリ／06-6720-2127

三和工場：〒620-1445 京都府福知山市三和町みわ小字エコートピア2-2

アネックス京都三和工業団地

電話番号／0773-59-2410 ファクシミリ／0773-58-3990

設立／1964年9月 資本金／3000万円

従業員／103人(三和工場44人)

事業内容／包装材料製造販売・健康食品原料製造販売

お問い合わせ先

京都府中小企業技術センター 企画連携課 企画・情報担当 TEL:075-315-8635 FAX:075-315-9497 E-mail:kikaku@mtc.pref.kyoto.lg.jp

化学物質のリスクアセスメント義務化に係る対応

2016年6月に化学物質のリスクアセスメントが義務化され、業種や事業規模にかかわらず、対象となる化学物質の製造や取り扱いを行うすべての事業者が対象となります。労働安全衛生に取り組んでこられた講師をお招きし、セミナーを開催しました。その概略をご紹介します。

労働安全衛生コンサルタント 伊香 實次 氏

平成28年6月1日に施行された労働安全衛生法の改正点は、人に対する一定の危険・有害性が確認されている640の化学物質とその製剤について、起こりうる労働災害を未然に防ぐため、事業者および労働者がその危険・有害性を認識し、事業者がリスクに基づく必要な措置を検討・実施する仕組みを創設するものです。具体的なリスクアセスメントの実施について、順を追って解説します。

危険性・有害性が確認されている化学物質のリスクアセスメントを実施し、結果を出すまでが事業者の義務。事業者は結果に基づき、労働者の危険又は健康障害を防止するために必要な措置を講じることが努力義務となります。規模や業種の限定はなく、化学物質を製造又は取り扱う全ての事業者が対象で、経過措置はありません。

実施時期は、施行日以降、①調査対象物を原材料として新規に採用し、又は変更するとき、②調査対象物を製造し、又は取り扱う業務にかかる作業の方法又は手順を新規に採用し、又は変更するとき、③調査対象物の危険性又は有害性等について変化が生じ、又は生ずるおそれがあるとき。

実施体制については、総括安全衛生管理者、安全管理者または作業主任者など、化学物質管理者、専門的知識のある人、外部の専門家などが挙げられますが、リスクアセスメントレベルを均一化するため、実施者を少数に限定するのがよいと考えられます。ノウハウ継承のため、実施体制の仕組み「リスクアセスメント実施規定」をつくって書面やファイルで残しておくことが必要です。

リスクアセスメントの流れは下記のような手順となります。

ステップ1

危険性または有害性の特定。対象となる業務を洗い出した上で、SDSに記載されているGHS分類などに即して、危険性または有害性を特定する。

ステップ2

リスクの見積もり。ばく露量の推定からリスク小と判断した場合は、一旦リスクアセスメントを終了、ただし記録は残す。推定リスクが中、不明、大の場合はリスクアセスメントを実施する。

ステップ3

リスク低減措置の内容の検討。危険性・有害性のより低い化学物質への代替、運転条件の変更、取り扱う化学物質の形状の変更、機械設備などの防爆化などの工学的対策、密閉化や局所排気装置の設置などの衛生工学的対策、作業手順の改善・立入禁止などの管理的対策、有害性に応じた保護具の使用、この順で検討を行う。

ステップ4

リスク低減措置(ステップ3の内容)を実施する。



リスクアセスメントを実施したら、対象物の名称・対象業務の内容・リスクアセスメントの結果・実施するリスク低減措置の内容について、労働者に周知しなくてはなりません。周知の方法は、①作業場に常時掲示、②書面を労働者に交付、③作業場に常時確認可能なパソコン端末等を設置、のいずれかでを行います。

リスクアセスメントは現在のところ努力義務であり、罰則規定はありませんが、法律違反となれば行政指導の対象となります。リスクアセスメントを適切に実施することにより、職場のリスクが明確になり、リスクに対する認識を職場全体で共有できます。また、安全対策について、合理的な方法で優先順位を決めることができ、職場全員に「危険」に対する感受性が高まるなどの効果が期待できます。まず、できることから始めることが重要です。

お問い合わせ先

京都府中小企業技術センター 基盤技術課 化学・環境担当 TEL:075-315-8633 FAX:075-315-9497 E-mail:kiban@mtc.pref.kyoto.lg.jp

けいはんな分室、産学公連携、こんなことしてます ～出会いが、なにかを生みます～

けいはんな分室では、地元企業のみなさんの産学公連携を進めるための取り組みとして、京都大学宇治キャンパスの4つの研究所や、同志社大学京田辺キャンパスと連携して産学交流会を開催しています。更に平成28年度は、最近問題となっている社会の課題や支援機関の支援メニューなどを知っていただくため、情報交換や意見交換の場として技術交流会を関係機関(国立研究開発法人科学技術振興機構や奈良先端科学技術大学院大学)、金融機関等と連携して開催しています。大学との産学交流会は、昨年度は、京都大学と4回、同志社大学と1回、また、トレンド情報についての技術交流会を1回、支援策について双方向に情報を共有・交換する技術交流会を1回開催しました。なお、京都大学との交流会の参加者の満足度は、90パーセントを超えるものも多く(参加者アンケートより)、それぞれの研究所、学部の特徴を活かした交流会が開催できたと思います。

平成28年度では

～京都大学宇治キャンパス産学交流会～

(公財)京都産業21や京都大学宇治キャンパス産学交流企業連絡会等と共催で、エネルギー理工学研究所と28年6月29日に、生存圏研究所と9月16日、防災研究所と12月6日、化学研究所と29年2月28日に、それぞれ交流会を開催しました。研究シーズの紹介、産学連携事例の発表、また連絡会会員企業の紹介、各研究所の施設見学と盛りだくさんに実施しました。



京都大学宇治キャンパス産学交流企業連絡会幹事
プラスコート株式会社代表取締役会長 佐藤 邦弘 氏

京都大学との産学交流会では、中小企業にとっては敷居が高いと感じられることも多くありましたが、回を重ねるごとに大学だけでなく、異業種の方との交流も深まりました。何よりの成果は、この産学交流会をきっかけに、京都大学COI事業(しなやかほつこり社会におけるワイヤレス電源技術の開発)に弊社が参加することとなったことでした。産学公のいいつながりのきっかけの場になっています。ぜひ、一度、ご参加ください。新しい出会いやアイデアが生まれるかもしれません。



平成28年9月16日
京都大学生存圏研究所との交流会の様様

～同志社大学・けいはんな産学交流会～

同志社大学京田辺キャンパスと地元企業、(公財)京都産業21など関係団体等と連携して、平成28年度は「ヘルスケア、介護、リハビリ技術」をテーマに10月21日に開催しました。



同志社大学リエゾンオフィス
産官学連携コーディネーター 大井 英之 氏

今回は、2社の企業様と2名の教員からの講演の後、スポーツ健康科学部の研究施設を見学しました。参加された皆様には、地元の企業が取り組まれている「健康・介護・リハビリ」に関する事業や本学の研究内容を理解していただく機会となり、地域における産学交流がより発展していくことが期待されます。



平成28年12月6日
京都大学防災研究所との交流会の様様

～けいはんな技術交流会Ⅰ～

京都大学との産学交流会、同志社大学との産学交流会に加え、新しいトレンドや課題を中小企業の方に知っていただき、また、中小企業と支援機関が情報や意見を交換し、交流する場として「技術交流会」を開催しました。国立研究開発法人科学技術振興機構や奈良先端科学技術大学院大学等とも連携するなど新たな出会いの場づくりを行っています。



平成29年2月14日
けいはんな技術交流会Ⅰの様様



平成28年10月21日
同志社大学との交流会の様様

今年度も引き続き交流会を開催予定です。今話題のテーマ、今後注目されると予想される分野など幅広く参加していただける企画で開催したいと思っています。ホームページやメールマガジン等でお知らせします。

■平成29年度京都大学宇治キャンパス産学交流企業連絡会会員募集

京都大学との産学連携や会員企業間の垣根を越えた交流のため連絡会を作っています。ぜひ会員に参加してください。詳しくは、ホームページをご覧ください。

お問い合わせ先

京都府中小企業技術センター けいはんな分室 TEL:0774-95-5050 FAX:0774-66-7546 E-mail: keihanna@mtc.pref.kyoto.lg.jp

実は学生さんも利用中です

応用技術課 植村 亮太

我々、京都府中小企業技術センターという名前ですが…

実は企業の方はもちろん**学生さんでも**利用できるんです。

初めての方でも、お気軽にご連絡ください。一例として分析が目的の場合は以下の流れで対応します。



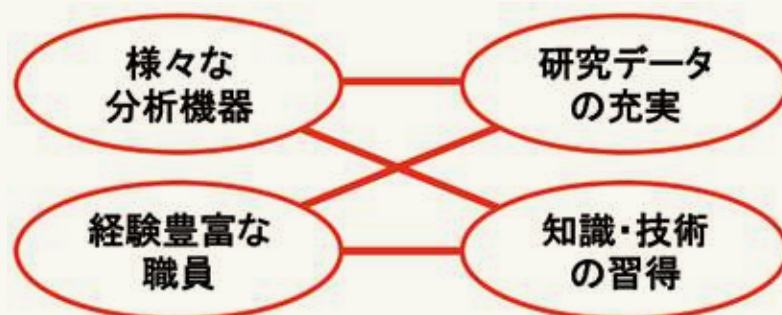
まずは**連絡**していただければ分析目的や分析対象について詳しくお伺いし、当センターの機器で対応できるかどうか**相談**させていただきます。その際、事前に文献調査等により分析条件を検討してもらっているとスムーズですが、それが難しい場合は助言・提案させていただきます。

分析方法に応じて試料の**準備**・前処理等を行っていただきます。その後、実際に装置を使用して**分析・解析**(機器使用料が必要)を行います。装置の操作方法や解析手法などは習熟されるまで経験豊富な職員が無料で説明させていただきます。場合によっては得られた**結果**の解釈なども助言させていただき、研究報告にご活用いただけます。

この記事は学生さん、大学の先生にも読んでもらいたい記事です。

中セン使って
良いところある

ご利用いただく学生さんにはいろいろなメリットがあります。



研究データを充実させるために、経験豊富な職員が相談に乗り、様々な分析機器を用いた分析手法を試すことが可能です。

また、研究室内だけでは触れることが難しい分析手法に触れることでデータの取得だけではなく知識や技術を習得することができ、一石二鳥です。

食品・バイオ担当では液体クロマトグラフやLC-TOF/MSを利用される学生さんが多いです。

液体クロマトグラフは分析対象によって、カラム、移動相、検出器などの分析条件を検討する必要がありますが、そのあたりの助言もさせていただきながら一緒に分析を行います。液クロは研究室にあるけれど、分析対象にあった仕様ではないときなどにもご利用いただいております。

最初はガスクロマトグラフで分析してみたのですが、うまく分析できないということで相談を受け、LC-TOF/MSで分析することを提案したこともありました。同じ試料でもどのような方法で分析するかで分析の可否・精度・難易度が大きく変わります。基本的には多くの学生さんは分析化学を専門に研究しているということではないと思いますので、ひとつのツールとして分析機器を使用することを考えたとき、我々が手助けできることは多々あると思います。

分析メインのご利用ばかりではなく、「発酵」の分野では卒業研究の実験も含めて当センターで支援することもあります。その研究成果であるたまご醤油「プラーナ」が今秋発売予定です。

京都駅から
電車3分&徒歩5分

お問い合わせ先

京都府中小企業技術センター 応用技術課 食品・バイオ担当 TEL:075-315-8634 FAX:075-315-9497 E-mail:ouyou@mtc.pref.kyoto.lg.jp

平成28年度「利用者窓口アンケート」結果のお知らせ

今後の事業展開や業務改善に役立てるため、当センターをご利用いただいた方々を対象に、利用目的や利用満足度、ご意見・ご感想等をお聞きする「利用者窓口アンケート」のご協力をお願いいたしました。
その結果をダイジェストでお知らせします。

アンケートの概要

対 象:平成28年12月5日～平成29年2月10日までの間に当センターの「技術相談、依頼試験、機器貸付」のいずれかを利用された方
回答数:202

本アンケートの特徴

利用サービスの約70%が機器貸付。また、単なる機器貸付や依頼試験だけでなく、約40%が技術相談も利用されています。

支援の満足度について、全体的に技術相談を併せてご利用いただくと満足度が向上する傾向がありました。特に機器貸付ではすべての項目でポイントが上昇しています。一方、依頼試験においても全体的にはポイント上昇の傾向にありましたが、「得られた成果」について約3ポイント降下(満足度90.4%→87.0%)する結果となりました。

主な実施結果

(1)他の支援機関の利用

府外の公設試験研究機関を利用される方が89件(約44%)、京都市産業技術研究所49件(約24%)、府外の民間機関31件(約15.3%)、府内公設試22件(約11%)、府内民間機関10件(約5%)となりました。

(2)あれば活用したいサービス(情報システム関連の支援サービスについて)

情報システム関連の支援サービスについての調査を行ったところ、「WEBでの機器貸付申込」100件(約50%)、「機器操作マニュアルの閲覧」78件(約39%)、「分析事例集の閲覧」75件(約37%)、「試験結果ダウンロード」60件(約30%)の順に多くなりました。

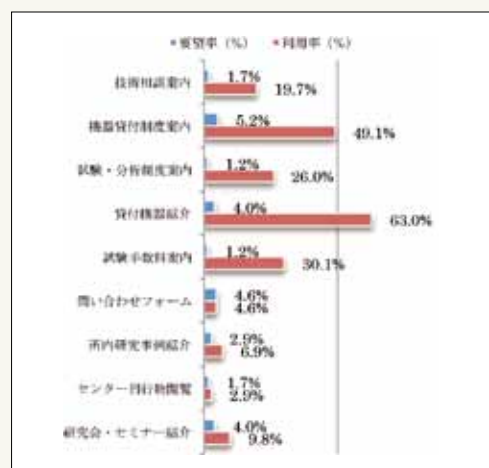
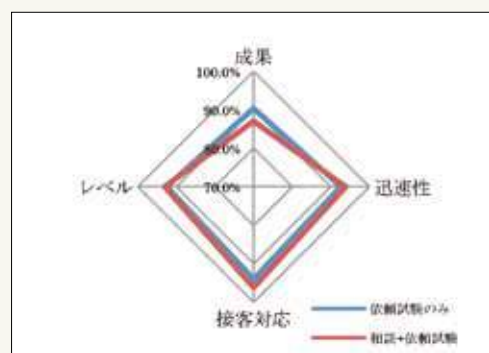
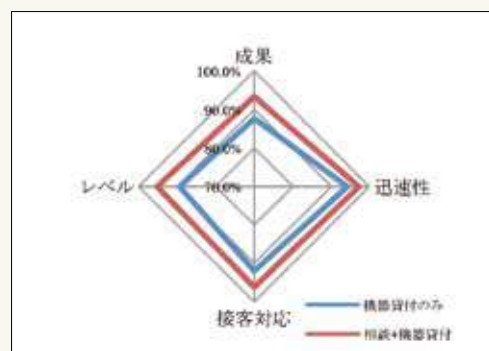
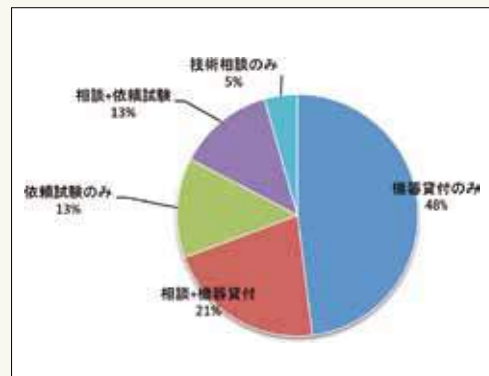
(3)参考になったページ・改善した方がよいページ

当センターWEBサイトを見たことがある方は173件(約86%)。このうち、主な利用ページとして、貸付機器の紹介109件(約63%)、機器貸付制度の案内85件(約49%)、依頼試験手数料の案内52件(約30%)、試験・分析制度の案内45件(約26%)、技術相談の案内34件(約20%)となりました。また、改善の要望についてはいずれのページも要望は10件未満の結果となりました。

(4)その他のご意見・ご感想

その他にセンター業務全般についての改善の要望等をいただきました。内容は「機器貸付の予約・申込状況の確認」や「機器の故障中等、利用の可・不可の表示」、「料金の支払い方法の改善」などの要望がありました。

アンケートの詳細は当センターのホームページに掲載致します。アンケートにご協力頂きありがとうございました。



お問い合わせ先

京都府中小企業技術センター 企画連携課 企画・情報担当 TEL:075-315-8635 FAX:075-315-9497 E-mail:kikaku@mtc.pref.kyoto.lg.jp

分光蛍光光度計



機器名称 分光蛍光光度計

光 源：150Wキセノンランプ
 測定波長範囲：200～750nm及び0次光
 感 度：S/N800以上(RMS)
 S/N250以上(Peak to Peak)
 試 料 形 態：液体・粉体・フィルム等



概 要

分光蛍光光度計は特定の波長(200～700nm)の光を照射し、試料から発生する蛍光や燐光の波長(200～750nm)を測定する装置です。

分析の対象は蛍光や燐光を発するものに限られますが、吸光分析と比較すると高感度であることが特長です。

波長スキャンモードでは、照射光の波長を変化させた場合に試料から発生する特定の波長における光の強度の測定や、特定の波長の光を照射した場合の試料から発生する光のスペクトルの測定が可能です。

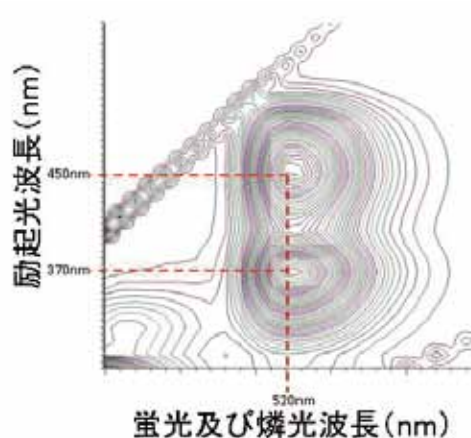
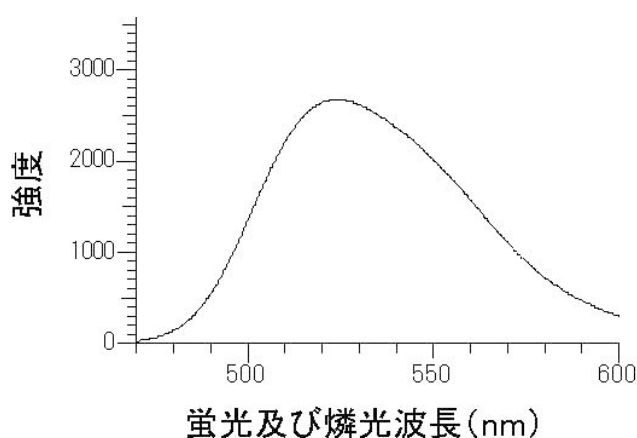
また、照射光の波長と試料から発生する光の波長の関係の3次元的情報を取得する3次元スキャン機能を備えています。

そのほか、蛍光や燐光の時間変化測定が可能です。

用 途

有機ELやフотクロミック材料等の発光特性や劣化の評価、食品・バイオ分野における蛍光の発生や消失による反応の進行の把握などに活用できます。

下図は飲料の波長スキャン(照射光450nm)と3次元スキャンです。波長スキャンから520nmの発光があることが分かります。また3次元スキャンからは、370nmの光によっても520nmの発光が生じることが分かります。



※機器貸付、依頼試験方法等詳細は、ホームページをご覧ください。https://www.mtc.pref.kyoto.lg.jp/p_gijutsushien/

お問い合わせ先

京都府中小企業技術センター 基盤技術課 化学・環境担当 TEL:075-315-8633 FAX:075-315-9497 E-mail:kiban@mtc.pref.kyoto.lg.jp

受発注あっせん情報

受発注あっせんについて

・本コーナーに掲載をご希望の方は、販路開拓グループまでご連絡ください。**掲載は無料です。**
・あっせんを受けられた企業は、その結果についてご連絡ください。

販路開拓グループ TEL. 075-315-8590

※本コーナーの情報は毎週火曜日、京都新聞及び北近畿経済新聞に一部掲載します。

業種No.凡例

機：機械金属加工等製造業 織：縫製等繊維関連業種 他：その他の業種

発注コーナー

業種No	発注品目	加工内容	地域・資本金・従業員	必要設備	数量	金額	希望地域	その他の条件・希望等
機-1	治具配線、組立	検査用治具製作	久御山町 3000万円 80名	拡大鏡、半田付キット（レンタル可）	話し合い	話し合い	京都府南部	●継続取引希望、当社内での内職作業も可
機-2	精密機械部品	切削加工	南区 1000万円 56名	MC、NC旋盤、NCフライス盤他	話し合い	話し合い	不問	●運搬受注側持ち、継続取引希望
織-1	ウェディングドレス	裁断～縫製～仕上	福井県（本社中京区） 18000万円 130名	関連設備一式	10～50着／月	話し合い	不問	●運搬片持ち、内職加工先持ち企業・特殊ミシン（メローがけ）可能企業を優先
織-2	婦人パンツ、スカート、シャツ	裁断～縫製～仕上	南区 1000万円 12名	ミシン、アイロン等	生産数量は能力に合わせて話し合い	話し合い	不問	●運搬片持ち、継続取引希望
織-3	自動車カバー・バイクカバー	裁断～縫製～仕上	南区 1200万円 17名	関連設備一式	話し合い	話し合い	不問	●運搬片持ち、継続取引希望
織-4	腰、膝サポーター、スポーツアクセサリー、産業資材、自動車の内装部品等の縫製	各種縫製や手加工、袋入れ、箱入れなど	綾部市 5000万円 43名	本縫い、オーバー、千鳥。あればシーマ、COMミシン、クリッカー要相談	要相談	要相談	近畿圏内	●運賃片持ち
織-5	ウェディングドレス	縫製	下京区 1000万円 41名	ミシン、アイロン等関連設備一式	20～30着／月	話し合い	近畿圏内	●運搬当方持ち
織-6	婦人服（ジャケット、スカート、ワンピース、ブラウス等）	縫製	宇治市 1000万円 18名	本縫いミシン、オーバーロック	話し合い、少量からでも対応可能	話し合い	不問	●運搬話し合い
織-7	のれん	裁断～縫製	西京区 1000万円 11名	ラッパミシン	5～10数枚／ロット	話し合い	不問	●基本サイズ 90×150 素材 綿・麻・ポリエステル

受注コーナー

業種No	加工内容	主要加工（生産）品目	地域・資本金・従業員	主要設備	希望取引条件等	希望地域	備考
機-1	切削加工・溶接加工一式（アルミ・鉄・ステン・真鍮）	液晶製造装置・産業用ロボット・省力化装置等精密部品	南区 500万円 21名	汎用旋盤5台、NC旋盤3台、汎用フライス3台、MC6台、アルゴン溶接機5台他	単品～中ロット	不問	運搬可能、切削加工から真空機器部品のアルゴン溶接加工も可
機-2	大型製缶加工	SUS・AL・SS製品、タンク槽、ボイラー架台等、大物、小物、設計・製造、コンポスト型生ゴミ処理機	南丹市 1000万円 8名	ターレットパンチプレス、シャー各種、バンダー各種、Tig・Migアーク溶接機各5台以上、2.8tクレーン2基、1t3基、フォークリフト2.5t2台、その他	話し合い	不問	2t車、4t車輦、継続取引希望、単発可
機-3	MC、汎用フライスによる精密機械加工（アルミ、鉄、ステンレス）	半導体関連装置部品、包装機等、FA自動機	南区 1000万円 30名	三次元測定器、MC、NC旋盤、NCフライス盤、汎用フライス盤、CAD他	試作品～量産品	京都・滋賀・大阪	運搬可能、短期対応可
機-4	プレス加工（抜き、曲げ、絞り、タップ）	自動車部品、機械部品、工芸品、園芸品等小物部品	福知山市 300万円 8名	機械プレス15t～100t（各種）	話し合い	不問	NCロール、クレードルによるコイルからの加工も可
機-5	精密切削加工（アルミ、鉄、ステンレス、真鍮、樹脂）	各種機械部品	南区 1000万円 18名	MC、NC旋盤、NC複合旋盤 20台	話し合い	不問	丸・角・複合切削加工、10個～1000個ロットまで対応します
機-6	ユニバーサル基板（手組基板）、ケース・BOX加工組立配線、装置間ケーブル製作、プリント基板修正改造		伏見区 個人 1名	組立・加工・配線用工具、チェッカー他	単品試作品～小ロット	京都府内	経験33年。性能・ノイズ対策を考えた組立、短期期に対応、各種電子応用機器組立経験豊富
機-7	プラスチックの成型・加工	真空成型、ブロー成型、インジェクション。トレー、カップ、ボトル等製造	伏見区 1000万円 19名	真空成型機、射出成型機、中空成型機、オイルプレス機	話し合い	京都・大阪・滋賀	金型設計、小ロット対応可
機-8	振動バレル、回転バレル加工、穴開け加工、汎用旋盤加工	鋼材全般の切断	精華町 1000万円 8名	超硬丸鋸切断機10台、ハイス丸鋸切断機1台、帯鋸切断機7台	話し合い	不問	運搬可能、単品可能、継続取引希望
機-9	MC、NC、汎用フライスによる精密機械加工（アルミ、鉄、銅、ステン他）	半導体装置、包装機、医療器、産業用機械部品	南区 300万円 5名	立型MC2台、立型NC3台、汎用フライス5台、CAD/CAM1台、自動コンターマシン2台	試作品～量産品	京都・滋賀・大阪	運搬可能、継続取引希望
機-10	超硬、セラミック、焼入鋼等、丸、角研磨加工一式	半導体装置部品、産業用機械部品	南区 個人 1名	NCフライス1台、NC平面研削盤2台、NCプロファイル研削盤3台、銀、ロー付他	話し合い	不問	単品、試作、修理、部品加工大歓迎
機-11	精密寸法測定	プラスチック成形品、プレス部品、プリント基板等	宇治市 6000万円 110名	三次元測定機（ラインレーザー搭載機あり）、画像測定機、測定顕微鏡、表面粗さ形状測定機、その他測定機、CAD等	話し合い	不問	3DCADとのカラー段階評価モデリング対応可、2DCADの3D変換
機-12	MC、NCによる切削加工	産業用機械部品、精密機械部品	亀岡市 1000万円 12名	NC、MC（縦型、横型、大型5軸制御）MA X1,600mm×1,200mm、鋳鋼可だが鋳鉄不可	試作品～量産品	不問	
機-13	溶接加工一式（アルミ、鉄、ステン）板金ハンダ付け、ロー付け、高温ハンダ付	洗浄用カゴ、バスケット、ステン編（400メッシュまで）、加工修理ステンレスタンク、ステンレススクリーン	城陽市 個人 4名	旋盤、シャーリング、ロールバンダー、アイアンワーク、スポット溶接機、80tプレス機、コーナシャー	話し合い	京都府南部	大型製造可（丸物500×900mm、角物700×700mm）
機-14	コイル巻き、コイルブロック仕上	小型トランス全般	南区 500万円 3名	自動ツイスト巻線機2台、自動巻線機8台	話し合い	京都近辺	短期期対応
機-15	切削加工、複合加工	大型五面加工、精密部品加工、鋳造品加工	南区 3000万円 20名	五面加工機、マシニングセンター、NC複合旋盤	話し合い	不問	継続取引希望
機-16	超硬合金円筒形状の研磨加工、ラップ加工	冷間鍛圧造用超硬合金パンチ、超硬円筒形状部品	八幡市 300万円 6名	CNCプロファイル、円筒研削盤2台、平面研削盤、細穴放電、形状測定機、CNC旋盤	単品試作品、小ロット	不問	鏡面ラップ加工に定評あります。品質・納期・価格に自信あります

業種No	加工内容	主要加工（生産）品目	地域・資本金・従業員	主要設備	希望取引条件等	希望地域	備考
機-17	各種制御機器の組立、ビス締、ハンダ付等	各種制御機器用端子台	伏見区 1000万円 13名	自動ネジ締め7台、ベルトコンベア1台、コンプレッサー(20hp)1台、電動ドライバ-30台	話し合い	京都、大阪、滋賀	
機-18	サンドブラスト加工	ガラス製品、工芸品、商品の彫刻加工	大山崎町 1000万円 2名	特装ブラスト彫刻装置、マーキングブラスタ-	話し合い	不問	単品、試作、小ロット可
機-19	精密板金加工（板厚 t0.8～3.2 単品～中量産品）	印刷関連機械装置等精密板金部品	久御山町 1,000万円 12名	工程統合マシン（レーザーパンチ複合マシン）・NCブレーキ・スポット、アルゴン、半自動溶接機・バリ取り機・タッピングマシン・リベッター他	継続取引	京都近郊希望	
機-20	エレクトロニクス部品等への表面処理（Au、Ni、無電解Ni、Su、Sn-Ag、Ag等めっき処理）	めっきの種類 Au、Ni、無電解Ni、Sn、Sn-Ag、Ag等	右京区 7445万円 134名	パレلمめっきライン、ラックめっきライン、フープめっきライン	話し合い	不問	開発部門あり。試作から量産まで御相談下さい
機-21	電子部品基板等の組立、半田付け 鞘の加工組立・検査・梱包	基盤後付加工・包装検査及び製品保管管理まで	京丹後区 3000万円 22名	ベルトコンベア・コンプレッサー台・半田付キット・電動トルクドライバ・卓上フライス	話し合い	不問	
機-22	製缶加工	大型フレーム 架台関係が得意	宇治田原町 500万円 3名	半自動溶接機 アルゴン溶接機 フライス パリトリ セットプレス	現金取引希望	京都周辺	
機-23	ワイヤーハーネス組立	ワイヤーハーネス	綾部市 3800万円 36名	連続端子自動圧着機 キャスティング各種アプリケーター USBカメラ汎用画像検査システム		京都府内	
機-24	NC、汎用旋盤、スロッターによるキー溝加工	工作機械部品	南区 300万円 5名	NC旋盤2台、汎用旋盤2台、スロッター4台	話し合い	不問	継続取引希望
機-25	ブラダン・PPシートの製造・加工、梱包資材の販売	ブラダン ツインコーンパロニア スミパネルの加工	宇治田原町 5000万円 60名	CAMサンプリカッター CAMミ-リング加工機 トムソン・プレス熱曲げ機 シート接続溶着機 緩衝材用ソリットフォーマー、スライサー UV印刷機	要相談	不問	
機-26	各種自動機等の設計	電機部品自動組立機、自動車部品自動組立機、搬送ライン、段ボール自動包装機、電子部品導通検査機等	八幡市 400万円 3名	Autocad2011 レーザープリンター	未締め翌末現金	不問	
織-1	仕上げ（縫製関係）、検査	婦人服全般	北区 300万円 8名	仕上げ用プレス機、アイロン、検針器	話し合い	話し合い	中国製品量産可
織-2	和洋装一般刺繍加工及び刺繍ソフト制作		山科区 1000万円 3名	電子刺繍機、パンチングマシン	話し合い	不問	タオルや小物など雑貨類の刺繍も承ります。多品種小ロット可。運搬可能
織-3	繊維雑貨製造、小物打抜、刺繍加工、転写、プリント		舞鶴市 850万円 9名	電子刺繍機、パンチングマシン、油圧打抜プレス、熱転写プレス	話し合い	不問	単発取引可
織-4	手作業による組立加工	和雑貨、装飾小物（マスコット、ファンシー雑貨、民芸品）、菓子用紙器等	電岡市 300万円 7名	ミシン、うち抜き機（ボンズ）	話し合い	不問	内職150～200名。機械化が不可能な縫製加工、紙加工の手作業を得意とする
織-5	裁断～縫製	和装全般	伏見区 300万円 6名	本縫いミシン5台、二本針オーバーロック4台、穴かがり1台、釦付1台、メロー1台、平二本針2台、高二本針1台、プレス1式	話し合い	近畿一円	
織-6	縫製	ネクタイ・蝶タイ・カマーバンド・ストール	宇治市 1000万円 27名	リバー、自動裏付機、オーバーロック、本縫ミシン、バンドナイフ裁断機	話し合い	話し合い	
織-7	婦人服製造	ワンピース、ジャケット、コート	電岡市 個人 5名	本縫いミシン、ロックミシン、メローミシン、仕上げプレス機	話し合い	不問	カシミア・シルク等の特殊素材縫製も得意
織-8	製織デザイン、製織	絹繊維織物全般、化繊繊維織物全般	与謝野町	撚糸機・織機	試作品、量産品	不問	小幅、広幅対応可能
他-1	HALCON認識開発、Androidスマホアプリ開発	対応言語：C/C++、VC++、VB、NET系、Delphi、JAVA、PHP	右京区 2000万円 25名	Windowsサーバー4台、Linuxサーバー3台、開発用端末30台、DBサーバー3台	話し合い	京都、大阪、滋賀、その他相談	小規模案件から対応可能
他-2	販売・生産管理システム開発、制御ソフト開発	対応言語：VB、NET、JAVA、C/C++、PLCラダー、SCADA（RS-VIEW/iFIX）他	下京区 1000万円 54名	Windowsサーバー10台、Linuxサーバー5台、開発用端末35台	話し合い	不問	品質向上・トレーニング・見える化を実現
他-3	企業案内、商品広告のパンフレット、ウェブサイトのグラフィックデザイン		左京区 個人 1名	デザイン・製作機材一式	話し合い	京都・大阪・滋賀	グラフィックデザインを中心に企業運営のためのデザイン企画を行っています
他-4	知能コンピューティングによるシステム開発、学術研究システム開発	画像認識、高速度カメラ画像処理、雑音信号除去、音声合成、振動解析、統計解析などのソフトウェア開発	下京区 300万円 9名	開発用コンピューター15台	話し合い	不問	数理論やコンピュータサイエンスに強い技術集団です。技術的課題を知能コンピューティングを駆使して解決します
他-5	箔押、染色標本、呉服色見本	各種紙への箔押、染色標本の制作、呉服色見本の制作、紙布等の裁断	上京区 個人 3名	断裁機、箔押機、紙筋入れ機	話し合い	京都市内	高級包装紙や本の表紙に金銀の箔を押し入れる業務が得意です。少量から承ります
他-6	コンピューターソフトウェアの作成及び保守	生産管理・工程管理・物流管理・制御系処理の各ソフトウェア開発	中京区 4500万円 21名	開発用サーバ30台 開発用PC110台 システム展開ルーム有り	部分システム～基幹システム	京都・大阪・滋賀・奈良・兵庫	
他-7	ホームページ作成・ECサイト作成・業務系WEBシステム開発・レンタルサーバー・サーバー構築		中京区 410万円 13名	パソコン(windows)14台、E68/パソコン(MAC)1台、タブレット1台	話し合い	近畿府県	
他-8	受注・工程・外注管理の個別ソフト作成	機械加工製造業に適したシステムパッケージ開発	南区 1,000万円 7名	サーバー5台 PC20台	話し合い	関西圏内	詳細説明、デモンストレーション可能

※受発注あっせん情報を提供させていただいておりますが、実際の取引に際しては書面交付など、当事者間で十分に話し合いをされ、双方の責任において行っていただきますようお願いいたします。
 ※財団は、申込みのあった内容を情報として提供するのみです。価格等取引に係る交渉は、直接掲載企業と行っていただきます。
 ※お問い合わせ時に、案件が終了している場合もございます。あらかじめご了承ください。

お問い合わせ先

(公財)京都産業21 ものづくり支援部 販路開拓グループ TEL:075-315-8590 FAX:075-323-5211 E-mail:market@ki21.jp

行事予定表

担当: 公益財団法人 京都産業21 京都府中小企業技術センター

日 時	名 称	場 所
4/ 6(木) 13:00~15:00	下請かけこみ寺巡回相談 (無料弁護士相談)	南丹市 国際交流会館
4/11(火) 13:30~16:00	取引適正化無料法律相談会	京都府産業支援 センター第1会議室
4/18(火) 13:00~15:00	下請かけこみ寺巡回相談 (無料弁護士相談)	久御山町商工会
4/19(水) 13:00~17:00	グッドデザイン賞応募説明会	京都府産業 支援センター研修室
4/19(水) 14:00~17:00	IoT/IoEビジネス研究会 第4回例会	京都市産業技術研究所 2F多目的ホール
4/20(木) 13:00~15:00	下請かけこみ寺巡回相談 (無料弁護士相談)	ガレリアかめおか
4/25(火) 13:00~15:00	下請かけこみ寺巡回相談 (無料弁護士相談)	丹後・知恵の ものづくりパーク
4/26(水) 10:00~17:00	CAE技術研究会	京都府産業 支援センター研修室
4/26(水) 13:00~15:00	下請かけこみ寺巡回相談	北部産業技術 支援センター・綾部
5/ 9(火) 13:30~16:00	取引適正化無料法律相談会	京都府産業支援 センター第1会議室
5/ 9(火) 13:30~17:00	第13回生活を豊かにするロボットビジネス研究会	京都リサーチパーク 4号館2Fルーム1
5/11(木) 13:00~15:00	下請かけこみ寺巡回相談 (無料弁護士相談)	南丹市 国際交流会館

日 時	名 称	場 所
5/16(火) 13:00~15:00	下請かけこみ寺巡回相談 (無料弁護士相談)	久御山町商工会
5/18(木) 13:00~15:00	下請かけこみ寺巡回相談 (無料弁護士相談)	ガレリアかめおか
5/19(金) 13:30~17:00	品質工学研究会	京都府産業 支援センター研修室
5/19(金) 16:20~18:00	京都産業21環の会(KSR)記念講演会	京都センチュリー ホテル1F「瑞鳳の間」
5/23(火) 13:00~15:00	下請かけこみ寺巡回相談 (無料弁護士相談)	丹後・知恵の ものづくりパーク
5/24(水) 13:00~15:00	下請かけこみ寺巡回相談	北部産業技術 支援センター・綾部

※行事については、すでに申込を締め切っている場合があります。
詳しくはお問い合わせください。

◆北部地域人材育成事業

4/4(火)・5(水) 9:00~17:00	新入社員研修	丹後機械工業 協同組合
---------------------------	--------	----------------

【医療・介護等機器無料相談日】(毎週水曜日 13:00~17:00)

医療・介護等機器開発や薬事関連法規などライフサイエンス分野のビジネスに関する相談について、お気軽にご連絡ください。(事前申込制)(公財)京都産業21イノベーション推進部新産業創出グループ TEL 075-315-8563 FAX 075-314-4720



はかりしれない技術を、世界へ。



株式会社 **イシダ** www.ishida.co.jp

本社 京都市左京区聖護院山王町44 〒606-8392 TEL 075-771-4141

京都府産業支援センター

<http://kyoto-isc.jp/>

〒600-8813 京都市下京区中堂寺南町134



公益財団法人 京都産業21 <https://www.ki21.jp>

代表 TEL 075-315-9234 FAX 075-315-9240

北部支援センター 〒627-0004 京丹後市峰山町荒山225

TEL 0772-69-3675 FAX 0772-69-3880

けいはんな支所 〒619-0294 関西文化学術研究都市(京都府 精華・西木津地区) KICK内

TEL 0774-95-2220 FAX 0774-66-7546

KICK TEL 0774-66-7545 FAX 0774-66-7546

上海代表処 上海市長寧区延安西路2201号 上海国際貿易中心

TEL +86-21-5212-1300



京都府中小企業技術センター

<https://www.mtc.pref.kyoto.lg.jp>

代表 TEL 075-315-2811 FAX 075-315-1551

中丹技術支援室 〒623-0011 綾部市青野町西馬下38-1

TEL 0773-43-4340 FAX 0773-43-4341

けいはんな分室 〒619-0294 関西文化学術研究都市(京都府 精華・西木津地区) KICK内

TEL 0774-95-5050 FAX 0774-66-7546

